



ロータリーは機会の扉を開く

2020~2021 RI.2760地区

瀬戸ロータリークラブ会報

2021年2月10日発行 第2781号

松村晋也会長よりメッセージ

立春も過ぎ暦の上では春ですが、まだまだ厳しい寒さが続いております。皆様にはご健勝にてお過ごしのこととお喜び申し上げます。さて2月7日まで発出されていた緊急事態宣言が3月7日までの延長となりました。愛知県も新規の感染者数は少し落ち着いてきておりますが、まだまだ医療の現場は予断を許さない状態が続いております。これを受け瀬戸ロータリーも2月10日、17日、24日、3月3日の例会をWEBとさせていただきますよう進めております。本日開催の定例理事会(書面)で決まり次第お知らせいたします。ただし、緊急事態宣言が解除された時点で通常例会にしたいと考えております。皆様となかなかお会いできなくて寂しい限りですが、もう少しの我慢と思っております。ご理解のほどよろしく願いいたします。



第2957回例会挨拶 会長 松村晋也君

皆さんこんにちは本日は瀬戸ロータリー第2957回の例会です。2月になりました。RIの月間といたしましては平和構築と紛争予防月間です。また2月の23日はロータリー創立記念日です。また23日から1週間は世界理解と平和週間です。本日はこの世界平和にちなんでロータリー平和センターのお話をさせていただきたいと思っております。

もともとこのプログラムは世界理解と平和と言う使命を達成するためのプログラムです。前身はポール・ハリス没後50年を記念して設立されたポール・ハリスセンターです。その後、紆余曲折して2009年にロータリー平和センターとして設立されました。世界平和と紛争予防の担い手となる人材を育てることを目的としたものです。世界中から約100名のフェローが提携大学で学んでいきます。国は今現在7カ国であります、アメリカ、日本、イギリス、オーストラリア、スウェーデン、タイそれから昨年の暮れにアフリカのウガンダのマケレレ大学にできました。日本は国際キリスト教大学に置かれております。ここで3カ月

間の研修を行います。その間の渡航費、滞在費、学費はすべて財団から支払われます。研修を受けた後は国連や世界銀行、国際機関やNGOなどで働きます。紛争予防や平和構築のための計画立案を行います。

ちょうどこれはかつてノーベル平和賞を受賞したマーティン・ルーサー・キング牧師が受賞スピーチで話した「戦争の否定と言うネガティブな面だけでなく平和の肯定と言うポジティブな面に力を入れる必要がある」と言うまさに積極的平和と言う考え方と相通じるものがあると思っております。今特にこのコロナ禍によって貧困が拡大しそれに伴って紛争も拡大しております。このような時代に、積極的に行動する事の重要性が求められています。

我々ロータリーの究極目的は世界中から争い事をなくし、平和な世界になる事を希望して日々奉仕活動を行なっているわけです。今日はロータリー平和センターのお話しをさせていただきました。会長挨拶とさせていただきます。

本日のプログラム

2021年2月10日(水)

通算第2958回例会

本年度第25回

WEB例会

- ・開会点鐘
- ・会長挨拶
- ・出席状況
- ・幹事報告
- ・卓話 戸田 由久君
演題…「年男の卓話」

前回例会 記録

2021年2月3日 第2957回例会

WEB例会

- ・出席率 WEB視聴 55名中 45名
出席率 81.81%

報告事項

2021 学年度米山奨学生受入

[奨学生] 戴琳(タイン)さん。

[学校] 愛知県立芸術大学 日本画専攻

[奨学期間] 2021年4月~2022年3月

[カウンセラー] 井上 博君

下記の例会はWEB例会とします

- 第2958回、2月10日
- 第2959回、2月17日
- 第2960回、2月24日
- 第2961回、3月03日